

おいでん・さんそん とよた森林学校運営委員会発行

No.1 2022年7月号

# とよた森林学校だより

## 森林入門セミナー

こんにちは。私は、豊田市森林課保全活用担当の伊藤と申します。  
4月より森林課へ異動となりまして、主に森林環境教育（とよた森林学校、とよたモリジャム、出前講座など）を担当することになりました。これからよろしく申し上げます！！今回は、スタッフとして参加した、とよた森林学校「森林入門セミナー」での様子についてご紹介したいと思います。



▲ハナノキ群生地の観察

### 第1回 「森のしくみ・人工林と天然林」 5月8日(日)

森林入門セミナー第1回では、旭高原元気村にて、基本的な森の仕組みや、人工林と天然林の違いを、主任講師である北岡先生の講義で学びました。

その後、隣接する「水源の森」や「ハナノキ群生地」を観察しました。

普段は見ることの少ない自然の豊かさに触れながら、講義で学んだことを深めていくという内容でした。



▲美しいブナの森を歩く

### 第2回 「原生林ウォーキング」 5月22日(日)

第2回では、豊田市で最も美しい森と名高い、稲武地区にある「面ノ木園地」にて、300年を超えるブナもある、原生林を観察しました。

人の手が入っていない天然林の美しさを知り、あるがまま自然の美しさを楽しむことができる内容でした。



▲間伐が遅れた人工林やはげ山を実際に見る

### 第3回 「森林の公益的機能・防災」 6月5日(日)

最終回となる第3回は、東京大学教授である蔵治先生に、林業の歴史的な背景や、今後森林とどのように関わっていくべきかを講義していただきました。

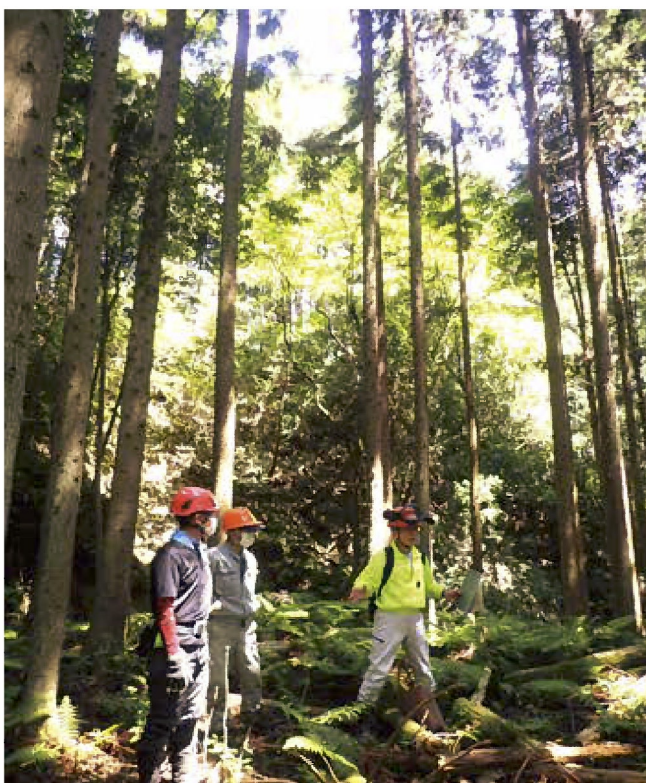
その後、瀬戸市にある東京大学演習林にて、様々な人工林（間伐を意図的に遅らせた人工林など）や、通常は見るできない「はげ山」となった部分を観察しながら、森林の持つ公益的機能をより深く学ぶことができました。

## 地域の森・健康診断 旭地区・押井町

第1回 「森に入って調べよう」 5月29日(日)



▲住民の方から、押井町の現状や取り組みを聞く



▲押井町の住民の方の人工林で「森の健康診断」を実施  
5m×5mの枠の中の過密度などを調査



▲人工林の5m×5mの枠の中の林床の植物を調べる  
(木・草本・シダ類で20~30種くらい)

「子供の時、山の高さは半分だったので家にも田んぼにも十分に太陽の光があっていたが…」

旭地区の山間地にある、後藤さんのご自宅から南側の眼下には何枚もの田んぼが連なっている。その南に山がある。杉の人工林だ。

杉がどんどん成長して「山の高さ」が倍になってしまったのだ。

このままでは、田も家も日陰になり、稲の成長や暮らしにも影響する。日陰になった田は耕作放棄地となり、日陰になった家には人が住まなくなる。山間地にはそんな例がたくさんある。深刻である。

杉の山の手入れはされているのだ。後藤さんは地域森づくり会議のメンバーであり、豊田市の支援を受けて森林組合が適切に間伐してくれているのをよく知っている。感謝もしている。

しかし、その支援は、杉の人工林が適正に保全されるためのものであり、田や家に光を適正に当たるようにするためのものではない。ここに問題と課題がある。

豊田市森林課も手をこまねているわけではない。人工林保全では先進的な施策を推進してきたし、全国から注目もされている。

新しい問題と課題にも気づいている。だから、森林課森づくり担当は「地域づくりと一体となった持続可能な森づくりを模索する取組み」を提起した。画期的だ。

市民も無関心であってはならない。

明治用水の取水口で起きた事故が示すように、工業も農業もすべての産業を支え、暮らしを支えているのは「水」であった。

水の枯渇ばかりでなく洪水も防がなくてはいけない。その水を適正に「使える水」として供給しているのは森林と山間地での人の営みであることを忘れてはいけない。

とよた森林学校では「地域の森・健康診断」講座として市民参加型でこの問題と課題に焦点をあてている。

(山本薫久)

第2回目、7月23日に「地域の森を考えよう」では、東大の蔵治教授、主任講師の北岡氏、森林課森づくり担当者の講演とフィールドワークで議論を深めます。

ぜひご参加ください。

●問合せ090-5453-6411(山本)

10月開催予定  
日本の森林で起きていること

豊田市主催

豪雨災害が頻発する昨今の日本国内の森林の現状とこれからのあり方について学びます。

●対象/どなたでも ●講師/蔵治光一郎

# 2022年度 とよた森林学校・講座案内

## 多様な間伐方法を学ぼう！

どんな間伐をすればいいのかわからない方へ

豊田市主催

間伐手法は本来、自然環境や目的によって多様であるべきものです。室内講義や選木実習を通して、間伐手法・選木方法を学びます。

第1回	8月20日(土)	多様な間伐手法の紹介/御内市有林
第2回	8月27日(土)	目標林型の考え方 /大洞市有林

- 対象/山主・間伐ボランティア
- 定員/12名
- 参加費/2,000円
- 講師/豊田市森林課 職員/大洞智宏 ほか  
※(岐阜県立森林文化アカデミー准教授)

## 間伐ボランティア初級講座

ここから森の整備をスタートしてみませんか？

豊田市主催

間伐の理論とチェーンソーを使用した安全な間伐手法を学びます。プロが実践を交えて丁寧にレクチャーしてくれます。

9月17日(土)～19日(月・祝) 間伐研修2泊3日

雨天予備日/ 10月14日(金)～16日(日)

- 対象/山主・間伐をはじめたい方
- 定員/16名
- 参加費/10,000円(別途宿泊代)
- 講師/豊田森林組合 職員 ほか

## 森林観察リーダー入門講座

一緒に観察会を開きましょう！

おいでん・さんそん主催

森林観察リーダーとして必要な基礎知識を実践的に学びます。

第1回	8月28日(日)	森のしくみ
第2回	9月11日(日)	森林の動植物
第3回	9月25日(日)	森林観察のポイント
第4回	10月9日(日)	模擬森林観察会
第5回	10月23日(日)	模擬森林観察会

- 場所/旭高原元気村
- 対象/森林観察会に興味のある方
- 定員/12名
- 参加費/5,000円
- 講師/北岡明彦

## 楽しい森林ウォーキング

森林をウォーキングしながら植物や昆虫の名前を覚えましょう！

おいでん・さんそん主催

低山を歩きながら、いろいろな種類の森林に生育する植物を、現地で観察します。

第1回	10月10日(月・祝)	富士山が見れるウォーキング (大多賀町・壱比曾岳)
第2回	11月 3日(木・祝)	ドングリを拾いながらウォーキング (坂上町・六所山)
第3回	11月23日(水・祝)	シイの実を食べながらウォーキング (松平町・松平郷)

- 対象/森林に興味のある方
- 定員/16名
- 参加費/3,000円
- 講師/北岡明彦 ほか

## 森林と災害

～東海豪雨を忘れない～ 豪雨災害に強い人工林のあり方を専門家から学びましょう！

おいでん・さんそん主催

集中豪雨や台風による洪水や土砂崩れが頻発しています。主な原因のひとつが間伐遅れの人工林といわれています。災害に強い人工林について、専門家から学びます。

第1回	11月6日(日)	森林の持ついろいろな働きを知ろう！ (東大演習林)
第2回	11月 20日(日)	間伐すれば人工林はよみがえる！ (大洞市有林)

- 対象/森林に興味のある方
- 定員/16名
- 参加費/3,000円(2回で)
- 講師/蔵治光一郎 ほか

※「樹木のおはなし」は、前「森林学校だより」から引き継ぎ、53としました。

## 樹木のおはなし 53※

## ヤブサンザシ(スグリ科)



豊田市内で絶滅寸前の状態にある樹木が何種類かありますが、前回のクサボケ同様に、非常に危険なのが、ヤブサンザシです。

成長しても高さ1m程にしかならない雌雄異株の落葉広葉樹で、3月末から4月中旬にかけ

て、薄黄色の直径6mm程の目立たない小さな花が咲きます。

花びらのように見えるのは萼が変化したもので、5~6裂します。

ヤブサンザシは、本来はもう少し寒い地域に分布する、もともと個体数の少ない種類ですが、東海地方では、里山に残る落葉広葉樹林の明るい林縁で、ごく稀に見ることができます。

しかし薪取り山としての利用が無くなり、コナラ-アベマキ林(落葉広葉樹林)からシイ-カシ林(常緑広葉樹林)への植生遷移が順調に進みつつある中で、ヤブサンザシの好む生育環境は少なくなりました。

豊田市内では、現在3ヶ所で生育を確認していますが、いずれの場所でも個体数はごく少なく、姿を消す可能性が高い状態にあります。Ⓜ

押井町の摩崖仏と  
樹齢三百年のケヤキ



推定樹齢300年の  
大きなケヤキ



▲地藏菩薩 ▲倶利伽羅不動

旭地区、押井町で、「地域の森・健康診断」の現場に向かう途中、班内の住民の方に、押井の名所を案内してもらった。

旧旭町の谷間を縫って走る、県道沿いに立つ、推定樹齢300年の大きなケヤキは、豊田市の銘木に指定されている。

ケヤキの本体は大きな岩の上であり、この岩の横をすり抜けて、太い根が、地面に突き刺さっている。

このケヤキの根元の岩に、磨崖仏が彫ってある。

文久3年(1863)に刻まれたものだという。(信州高遠の石工小池若吉重房の作とされる)

県下でも数少ない自然の岩壁に彫り込まれた仏像で、左側は地藏菩薩。右側は、竜が剣に巻きついて飲み込もうとしている様子から、倶利伽羅不動(くりから)だと言われている。地藏菩薩は子どもの守り神、不動明王は厄払いの神とされ、ケヤキ同様に信仰の対象になってきた。村のランドマークだった、この場に立つと、神聖で荘厳な空気を感じた。

## 森林学校講座の申込方法

### 1. 豊田市・森の総合サイトTomori にアクセス!

豊田市 トモリ 検索

### 2. アカウント登録 (初回のみ)

- 「楽しむ・学ぶ」ページ右上の **新規登録** をクリック
- 必要情報を入力し、 **利用規約に同意して登録** をクリック
- 届いたメールのURLをクリックし、サイトで本登録をして完了!

### 3. 講座の申し込み

- サイト上部の「楽しむ・学ぶ」をクリックし、
- **申し込み** をするをクリック
- 必要事項を入力し、 **登録する** をクリックし完了!

※こちらからも講座の申し込みができます

### お問い合わせ・申し込み

- おいでん・さんそん森林学校運営委員会  
担当/山本 090-5453-6411 (SMS可)
- 豊田市役所 森林課 0565-62-0602

夏大の注冊



- 今年度から「とよた森林学校だより」を「おいでん・さんそんとよた森林学校運営委員会」が発行します。森のしくみ、間伐、森と災害など、一緒に学んでいきましょう!
- 「トモリ?タモリ?、そんなところから申し込みでせん」という方、上記の電話で申し込みできますよ。
- 鳥の声で耳が、遠くの本を見て目が、森を歩いて足が先生の話で頭が……、丈夫になりますよ、とよた森林学校で!